

構築一，令和4年度新潟歯学会第2回例会，新潟市，2022年11月12日。

- 34) 小林亮太，佐藤大祐，Orakarn Suebsamarn，内藤絵里子，干川絵美，鈴木絢子，富原 圭，泉 健次：ヒト培養口腔粘膜上皮角化細胞の運動/増殖能を制御/調節する分子基盤の解明，令和4年度新潟歯学会第2回例会，新潟。2022年11月12日。
- 35) 成松花弥，飯田明彦，小林孝憲，上野山敦士，永井孝宏，隅田賢正，木口哲郎，結城龍太郎，山田 茜，笠原 映：最近10年間における長岡赤十字病院歯科口腔外科新患患者の臨床統計的検討。令和4年度新潟歯学会第2回例会，新潟市，2022年11月12日。
- 36) 永井孝宏，笠原 映，山田 葵，永田昌毅，富原 圭：当科における培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞定挙手術，第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，ハイブリッド(東京)，2022年11月26-27日。第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会プログラム・抄録集241頁，2022。
- 37) 木口哲郎，隅田賢正，阿部達也，林 孝文，田沼順一，富原 圭：頸部再発に対してニボルマブを使用した若年者舌癌の1例。第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会，Web開催，2023年1月26日～2月28日。
- 38) 勝見祐二，星名秀行，鶴巻 浩，富原 圭：口蓋正中粘膜を用いた顎堤形成術の臨床的検討。第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，ハイブリッド(東京)，2022年11月26-27日。
- 39) 鶴巻 浩，児玉泰光，勝見祐二：後期高齢者におけるインプラント埋入手術の実態調査。第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，ハイブリッド(東京)，2022年11月26-27日。
- 40) Tomihara K, Imaue S, Tachinami H, Noguchi M. Salvage therapy for immunotherapy-refractory oral cancer with combination chemotherapy. 13th Joint Scientific Meeting of Nepal Association of Oral and Maxillofacial Surgeons (NAOMS) and Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons (JSOMS) and PG Convention. Dharan, Nepal. February 4, 2023.

【研究会発表】

- 1) 木口哲郎：若年者に認めた再発・頸部転移を繰り返した舌癌の1例，第88回新潟口腔外科麻酔科集談会，Web。2022年5月19日。
- 2) 隅田賢正：糖尿病と適応障害により周術期管理に難渋した若年者舌癌の1例，第89回新潟口腔外科麻酔科集談会，Web。2022年11月17日。

【その他】

- 1) 高木律男：2022新潟県歯科医師会歯科助手講習会「特殊歯科（障がい者・高齢者・有病者）」2022年5月22日、新潟市（Web）。
- 2) 高木律男：医療安全セミナー(WEB) 歯科診療における院内感染防止対策の推進：令和4年度診療報酬改定を受けて。エビデンスに基づく一般診療における院内感染対策。新潟市、2022年6月26日。新潟県歯科医師会館より。
- 3) 高木律男：令和4年度 北関東甲信越ブロック HIV感染者の歯科医療情報交換会「HIV感染症の医療体制整備に向けて—口腔環境の見直しと開業歯科医院での対応—」（企画），「北関東甲信越ブロック情報交換会10年間の歩みと今後に向けて」（講演），新潟市（Web）。2022年10月30日（11/6までWeb配信）。
- 4) 高木律男：顎関節症への初期対応。北2班講習会、新潟市。2022年12月7日。
- 5) 富原 圭：こんな症状も口腔がんです。新潟県歯科医師会 口腔がん（口腔粘膜疾患）研修会 WEB。2022年3月 web配信
- 6) 富原 圭：障害のある患者さんの口腔外科。公益社団法人日本小児歯科学会2022年度専門医セミナー。富山市。2022年10月10日
- 7) 富原 圭：（教育講演）がん治療における口腔機能管理の現状と展望。第17回 新潟口腔ケア研究会 オンデマンド配信：2022年11月20日～12月10日

口腔解剖学分野

【論文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis* In Press.
- 2) Kantaputra P, Jatooatthawichot P, Adisornkanj P, Kitsadayurach P, Kaewgahya M, Olsen B, Ohazama A, Ngamphiw C, Tongsim S, Cox TC, Cairns JRK. Rare variants in LRP4 are associated with mesiodens, root maldevelopment, and oral exostoses in humans. *Biology* (Basel). In Press.
- 3) Kantaputra P, Butali A, Eliason S, Chalkley C, Nakornchai S, Bongkochwilawan C, Kawasaki K, Kumchiang A, Ngamphiw C, Tongsim S, Ketudat Cairns JR, Olsen B, Intachai W, Ohazama A, Tucker AS, Amendt BA.

CACNA1S mutation-associated dental anomalies: A calcium channelopathy. *Oral Dis*. In Press.

- 4) Kantaputra P, Niramol Leelaadisorn, Athiwat Hatsadaloi, Natalina Quarto, Worrachet Intachai, Sissades Tongsimma, Katsushige Kawasaki, Atsushi Ohazama, Chumpol Ngamphiw, Paswach Wiriyakijja. A mutation in CACNA1S results in impaired calcium homeostasis and dental anomalies. *Diagnostics*. In Press.

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 前田健康, 川崎真依子: 代生歯堤の形成・維持メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19591, 2022.
- 2) 大峽 淳, 川崎真依子: 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2022.
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 顎顔面領域におけるシグナル経路のクロストークと一次線毛との関わりについて. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 17K11829, 2022.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳: 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2022.
- 5) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳: 下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2022.
- 6) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎真依子, 川崎勝盛: 舌誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 20K10156, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大峽 淳: 形作りの原理を紐解く〜形や数の異常の理解〜/新潟大学歯学部同窓会, Zoom, 2022 年 4 月 23 日
- 2) 川崎勝盛: 顎顔面の発生過程における一次線毛の機能解明, 新潟, 第 5 回共用設備基盤センターシンポジウム, 2022 年 10 月 18 日
- 3) 大峽 淳: 胎生期の器官形成におけるストレスの解明, 第 11 回知の広場サイエンスセミナー, Zoom, 2023 年 1 月 19 日

【学会発表】

- 1) 工藤武久, 丹原惇, 北村円, 大峽淳, 齋藤功: Ifit88 は Shh シグナル経路を介してエナメル形成を調節する, 第 37 回 甲北信越矯正歯科学会学術大会 2022 年 6 月 26 日, 新潟

口腔生理学分野

【著 書】

- 1) 山村健介 咀嚼の本 3 噛むことの大切さを再認識しよう p41, 82. 口腔保健協会, 東京, 2022.
- 2) 岡本圭一郎 令和 4 年度版出題基準 歯科衛生士国家試験ポイントチェック 1 p14-69, p103-112. 医歯薬出版, 東京, 2022.

【論 文】

- 1) Mana Hasegawa, Kajita Piriyaprasath, Masanori Otake, Rantaro Kamimura, Isao Saito, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Effect of daily treadmill running exercise on masseter muscle nociception associated with social defeat stress in mice European J Oral Sciences 130(4) e12882 2022.
- 2) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介: 日常的なガム咀嚼トレーニングが若年者の咀嚼機能および咀嚼行動に及ぼす影響. 日本咀嚼学会雑誌 32 (2): 1-10, 2022.

【商業誌】

- 1) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, Kajita Piriyaprasath, 藤井規孝, 山村健介: エクササイズは顎顔面部の慢性痛を軽減する? 歯界展望 140(2): 217-220, 医歯薬出版, 東京, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 山村健介, 黒瀬雅之, 内山美枝子, 佐藤大祐, 岡本圭一郎, 新井映子, 小林琢也: 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 22H03375, 2022-2025.

【学会発表】

- 1) Kajita Piriyaprasath, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto ストレス伝染はマウスの咬筋侵害応答を増大する. 第 100 回日本生理学会 (京都) 2023 年 3 月 15 日.
- 2) Jorge Saez Chandia, Keiichiro Okamoto, Mayumi Taiyoji, Kotaro Aihara, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Yoshito kakahara Effect of Sake lees (sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism. 日本農芸化学会 2023 (Web) 2023 年 3 月 14 日.
- 3) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Takeyasu Maeda, Makoto Inoue